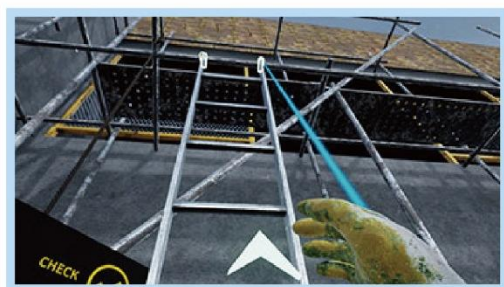


2026年6月16日

～モーションプレートで臨場感ある“危険を安全に”体験～ 「安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、明電システムソリューション株式会社(本社:静岡県沼津市、代表取締役 取締役社長:吉野康裕、以下明電システムソリューション)と協業し、建設現場で起こりうる労働災害に対し、臨場感のある安全教育を実現する「安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ」のレンタルを2026年6月16日(火)から開始いたします。



【安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ 体験イメージ】

厚生労働省の統計によると、日本の労働災害による死傷者数は、法改正や現場設備の改善などにより、昭和期のピーク時の約 35 万人から大幅に減少してきました。しかし近年、休業 4 日以上死傷者数は年間約 13 万人前後と横ばいが続き、減少傾向が鈍化しています。その主な要因の一つが「ヒューマンエラー」で、労働災害の約 8 割に人間の不安全な行動が関与しているとされています(出典:厚生労働省)。

労働災害が多発していた時代には、危険が身近であったため、従来の座学教育でも一定の効果がありました。しかし、作業環境や設備の安全性が向上した現在では、「どこが危険か」「何が危険か」を十分に認識できないケースが増え、危険予知能力の向上が課題となっています。

こうした課題を解決するのが、明電グループが推進する安全体感教育の一環として明電システムソリューションが開発した「安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ」です。VR 映像と連動した体への刺激(傾き・揺れ・衝撃)を再現するモーションプレートで、高所からの墜落や車両転覆など、よりリアルな疑似体験が可能です。作業者の危険予知能力の向上と安全意識の定着を支援する次世代型の安全教育システムとして、ヒューマンエラーを減らし、より安全な現場づくりを実現していきます。

■「安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ」特長

- ①ヘッドマウントディスプレイ(HMD)の VR 映像と連動した体への刺激【傾き・揺れ・衝撃】を再現するモーションプレートで、臨場感ある体験を実現
- ②3 軸 VR シミュレータは体験者の転倒を防止する安全ガード付きで複数人のサポートが不要
- ③3 軸 VR シミュレータは分離型となっており、一般的な間口サイズ:900mm~1,200mm のエレベータや扉を通過できるサイズ。カゴ台車による輸送が可能
- ④コンテンツは、過去の労災データをもとに、被災者の心理や状況をリアルに再現。墜落、火災、感電、転倒など約 50 種類あり、約 40 種類が 3 軸 VR シミュレータ対応

■「安全教育用 VR システム 3 軸 VR シミュレータ」商品構成



【3 軸 VR シミュレータ】



【VR 用 PC・HMD セット】






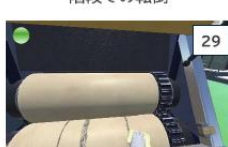


【VR コンテンツ】

コンテンツは明電システムソリューションが提供する「MEIDEN SOLUTION PASS」を介してご利用いただけます。
 ※コンテンツごとに月額料金がかかります(セットプランもあり)。
 ※別途オリジナルコンテンツの製作も可能です。

※本商品は 1 ヶ月単位のご案内になります。PC・HMD セットのみのレンタルも可能です。

■VR コンテンツ例

 1 移動ハシゴからの墜落	 2 溶接作業での火災	 3 電動工具での感電	 4 高所からの工具落下	 5 フォークリフトの転覆
 9 階段での転倒	 11 粉塵爆発	 23 つまづき	 24 フォークリフトの過積積載	 25 確認不足による火災
 29 ロール機巻込まれ	 30 蒸気火傷	 31 クレーン激突され	 32 電柱から墜落	 33 ロールボックスパレット激突され

■「3軸VRシミュレータ」スペック

メーカー	明電システムソリューション		
電源	AC100/15A		
寸法	可動装置 L×W×H (mm)	900×1,000×1,500	
	制御ボックス L×W×H (mm)	600×400×820	
質量	可動装置 (kg)	約162	
	制御ボックス (kg)	約105	

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、安全教育や安心・安全な作業環境の実現に貢献する商品やサービスを提供していきます。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。

目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ パワーシステム事業部

TEL:03-6666-2205